

令和5年度通常総会

議 案

令和5年4月22日（土）

石 川 県 巨 樹 の 会

Ishikawa Giant Tree Association

議案第 1 号

令和 4 年度事業報告及び収支決算について

1. 事業報告

(1) 総括

昨年度も新型コロナウイルス感染症による活動への影響は多少残ってはいましたが、徐々に従前の活動へ戻りつつある 1 年間になりました。

総会・講演会は開催会場を文教会館に移し 26 名の参加者でのスタートとなりました。令和元年から 3 年ぶりに春季・秋季年間 2 度の探訪会開催をはじめ、環境フェア 2022 への参加、「第 33 回巨木を語ろう全国フォーラム東京・三宅島大会」にも久し振りの参加となりました。

また、本会ホームページも刷新拡充し今年度から始めたツイッターには反応、手応えがある様です。巨樹データ管理も再調査の準備も進み測定講習会を開催し歩みを進めています。

会報の発行は、カラー対応 2 年目となり、見易くなったとのご意見も頂いており、特に表紙を飾る巨樹写真は会員からの自薦もあり色々気を配ることがある様です。

会員状況は、会員の高齢化による退会は否めませんが、新規入会者もあることから、会員数は横這い状況ではあります。しかしながら、若い会員の入会施策が急務だと感じております。ホームページやツイッター等の新しい試みはその一助になればと思います。

会員の皆様方の一層のご協力をお願い申し上げます。

ア 例年の事業である巨樹探訪会の春季は 2 年連続のコロナ禍で中止となっていた福井方へ 3 度目の正直で 25 名の参加者での開催となりました。

秋季は加賀方面の巨樹と日本 100 名山の著者で知られる深田久弥山の文化館へ参加者 23 名で実施でき、巨樹以外の文化施設は好評でした。

イ 会報は、会員だけでなく行政や報道機関、図書館等の友好団体にも広く配布し、巨樹の保護や本会活動についての理解や普及に努めました。

ウ 「いしかわ環境フェア」はコロナ禍で 3 年振りに開催され、規模を縮小しての出展・参加となりましたが、本会活動を PR できたと思います。

エ 調査普及活動においては、本会ホームページを刷新し、ツイッターや他団体等へのリンクにより使い勝手が良くなったと好評です。

必ず若い世代へのアピールになるとを確信しております。

巨樹データ管理もいよいよ次年度には再調査を本格的にスタートするための講習会や調査機材を調達するなど準備を進めてまいりました。

「第 33 回巨木を語ろう全国フォーラム東京・三宅島大会」には 2 名が参加し、広く全国の巨樹愛好家・樹木や森林の専門家の方々と情報交換、情報共有を図り、歴史ある本会の活動をアピールできました。

(2) 会員の状況

総括でも申し述べました通り新型コロナ禍で様々の活動予定が中止、縮小開催される 1 年間でありました。退会者も増えましたが新規入会者も多く、辛うじて前年の会員数を維持することができ、ホッとしているのが率直な感想です。

しかしながら、会員の高齢化は進み特に若年層の入会を図るべく、役員の

若者登用、ホームページの強化、巨樹データ管理、魅力ある探訪会、講演会の内容など、再検討が必要ではないかと痛感しております。

令和5年3月末現在

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	増減
個人会員	132	131	131	±0
法人会員	13	13	13	±0
購読会員	5	5	5	±0
計	150	149	149	±0

(3) 事業の経過

令和4年4月～令和5年3月

① 会議等

会議等名	実施日	備考
総会	4月23日	県文教会館
監査	3月29日	神社庁にて
打ち合わせ等	4月10日、11日、19日、22日	総会打ち合わせ他
	4月19日、25日	
	5月2日、12日、13日、14日、17日、19日、20日、21日、26日、30日	
	6月3日、6日、18日、23日、28日	
	7月19日、22日、27日	
	8月4日、12日、15日、17日、19日、20日、21日、29日、30日、31日	
	9月7日、15日、20日	
	10月5日、6日、10日、13日、14日、15日、19日、21日、29～30日	
	11月1日、7日、13日、17日、19日、30日	
	12月5日、8日、10日、16日、21日、22日	
	1月7日、11日、13日、20日	
	2月9日、10日、11日、12日、17日	
合同役員会	2月23日	

② 講演会

日 程 4月23日
 会 場 石川県文教会館202号室
 講 師 太田 昌子氏 金沢湯涌夢二館館長
 演 題 「日本絵画に見る巨樹」～その形と意味～
 出 席 26名

③ 巨樹探訪会

春 季 (5月21日) 福井方面 (参加25名)
 秋 季 (10月15日) 加賀方面 (参加23名)

④ 会報 「巨樹いしかわ」の発行

- 8月（第67号） 2月（第68号） 各500部
- ⑤調査・研究・普及活動等
- ア「いしかわ環境フェア」の参加・出展（8月20日、21日）
本会作成の「石川の巨樹・巨木林ガイド」を中心に写真展示や巨樹の環境への効果、本会の活動を紹介しました。
3年振りの開催で万全のコロナ感染対策の上、規模を縮小しての開催となりましたが、当会入会案内を配布してPRしました。
- イ その他関係団体等が開催する活動や行事等への参加・指導・協賛。

- 6月18日 石川県自然史センター総会・講演会
参加 高木会長 他3名
- 6月28日 いしかわ環境パートナーシップ県民会議総会
出席 高木会長
- 10月29、30日 巨木を語ろう全国フォーラム東京・三宅島大会
参加 北川副会長 他1名
- 12月22日 金沢林業大学校公開講座
講師 間明副会長

2. 収支決算（見込み） 別紙1.

(1) 総括

令和5年3月31日現在の決算見込みは別紙1の通りとなりました。
会費の未納が若干気になりますが、会報発送に併せて未納分請求予定です。
今年度は当会のホームページ改訂、巨樹データ管理の進捗がございましたが、来年度はそれぞれ拡充を図り併せて若年層へのアピールを軸に会員増を図ってまいります。

議案第2号

令和5年度事業計画及び収支予算（案）について

1. 事業計画

(1) 基本方針

- ① 巨樹に親しみ護ることの意義や重要性の認識の普及・浸透に努める。
- ② 巨樹調査データの整理更新作業のほぼ完了を踏まえ再調査の未実施分の計画を継続し、会員も含め多く一般の方々への情報共有を図る。
- ③ 巨樹の健全度などの現状把握に努め診断や保護対策を提言する。
- ④ 自治体（地域）と連携し、保護対策の充実及び特に重要な樹木の天然記念物指定等に努める。
- ⑤ 本会の趣旨、目的、活動の重要性を広め、会員の増加に努める。

(2) 事業計画

- ① 講演会
日時 令和5年4月22日（土） 14時30分～16時00分
場所 石川県文教会館406会議室
演題 「室生犀星と樹木」
講師 嶋田 亜砂子氏（室生犀星記念館 学芸員）
- ② 巨樹探訪会の実施
ア 春季 5月27日（土） 探訪先 富山県魚津市方面

魚津市 南又谷の洞杉群、魚津市埋没林博物館
上市町 宮川の大櫨、立川寺参道のとが並木

イ 秋季 10月21日(土)

探訪地 未定

- ③ 会報「巨樹いしかわ」の発行
 - ア 発行回数 2回 (8月、2月) 発行部数 500部
 - イ 会員からの積極的な寄稿を求めます。
- ④ 調査・研究・普及・保護活動等
 - ア 巨樹再調査の実施。
 - イ 巨樹データベース(環境省)の更新及び登録。
 - ウ 自治体と連携し巨樹の重要性について社会的理解と認識を高める地域活動等の推進。
 - エ 巨樹古木の保護等に関する相談や診断、管理指導等。
 - オ 「巨樹保護活動等」の継続実施。
 - カ 関係団体の行事等への積極的参加と巨樹の意義や重要性、巨樹愛護の普及・啓発。
 - キ 巨樹の会の存在をPR、特にホームページ、SNSツールを利用し幅広い年代層にアピールする。
 - ク 能登地区、加賀地区、金沢地区それぞれの地区委員との情報交換会の開催。
- ⑤ 会員の増加、支援者の拡大
会の活動のPR、自治体への要望、探訪会への一般参加の推進、幅広い内容による講演会等で会員増を図る。

2. 収支予算案

別紙2.

会員減少に伴い収入が若干の下降線を辿る。会員確保のための活動内容の見直しが課題。

議案第3号

役員を選任について

別紙3

報告事項

1) 令和5年度運営委員及び地区委員の委嘱について

別紙4

2) その他